

**Vestax®**

Professional Mixing Controller

# PMC-005

取扱説明書



**VESTAX CORPORATION**

2-37-1, KAMIUMA, SETAGAYA-KU,  
TOKYO 154 JAPAN  
TEL:03-3412-7011 FAX:03-3412-7013

## 仕 様

入力レベル/インピーダンス	
MIC (DJ, MAIN)	-72dBV/3.3 K $\Omega$
LINE L/R	-16dBV/50 K $\Omega$
PHONO L/R	-58dBV/47 K $\Omega$
出力レベル/インピーダンス	
OUTPUT L/R	0dBV/10 K $\Omega$ 以上
REC OUT L/R	-10dBV/10 K $\Omega$ 以上
HEADPHONES	MAX 140mV/22 $\Omega$ 負荷
周波数特性	
LINE~OUTPUT	20Hz~70KHz +0/-1dB
PHONO RIAA	$\pm$ 1dB
外形寸法 (W×H×Dmm)	230×132×277

## アフター・サービス

1. 本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認の上、大切に保管して下さい。
2. 保証期間中は、保証書の記載内容により、弊社サービス機関が修理致します。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、または当社サービスにご相談下さい。

保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

## 安全上のご注意

- 本機は交流(AC)電源100V専用ですので直流電源や他の異なる電圧の交流電源に直接つないで使用することはできません。なお、電源周波数(50Hzまたは60Hz)の調整は不要です。
- 電源アダプターをコンセントから抜くときは必ずアダプター本体を持って 抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くとコードを傷めてしまいます。
- 水などに濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。
- ビニール等の被膜が切れたりこすれたりして芯線が露出している電源コードをそのまま使用すると、感電や火災の原因となります。また、本機内部に水等の液体や可燃物およびペン等の金属類をいれないようにご注意ください。感電や故障の原因となります。
- 本機外装カバーを取はずして内部に手を触れないで下さい。この結果生じた損傷、感電や火災等について、当社はその責任を負いません。

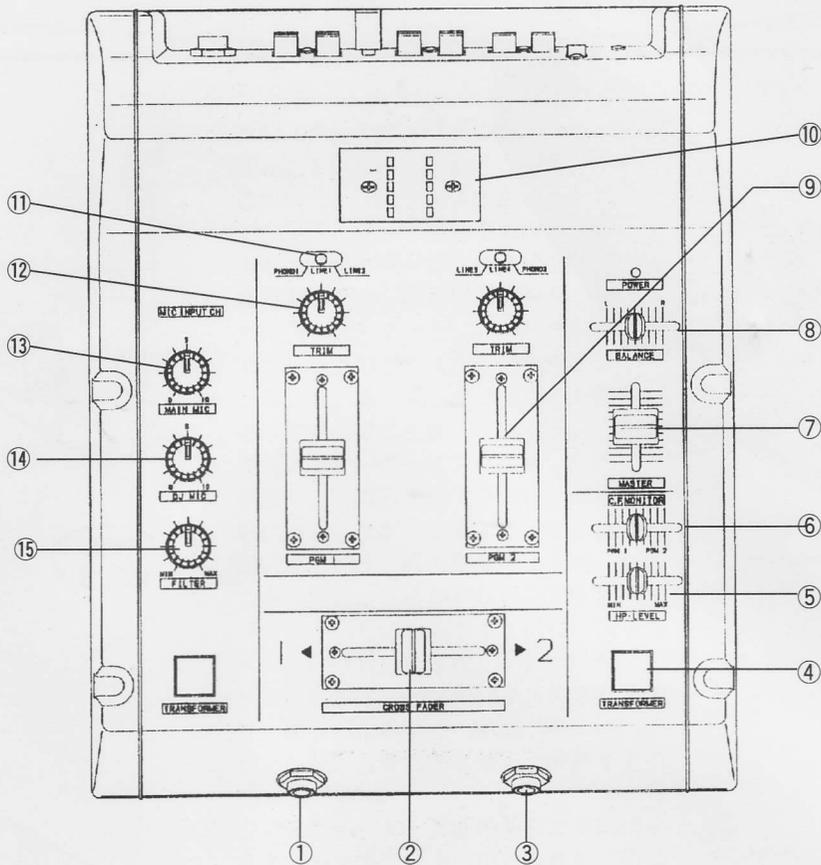
## 設置上のご注意

常温(5~35℃)、通風が良い、頑丈で電源電圧の変動が少ない場所に設置して下さい。アルコールやシンナー等の溶液で塗装面を拭かないで下さい。塗装がはげることがあります。

## ご注意

PMC-005の本体の保証期間は1年ですが、クロスフェーダー等をパーツの耐久力を超えた苛酷な使い方、例えばスクラッチなどでお使いになると、通常パーツの耐久時間として保証されている時間(1年)以上を1カ月の内にお使いになられることがあります。その場合の交換につきましては、弊社の判断により実費を請求させていただきます。また、パーツに無理な力を加えると破損することがありますので、本機の性能に疑問が生じた場合には、お買上げの販売店か弊社までお問い合わせ下さい。

## 各部の名称と機能



## フロントパネル

1. DJ MASIC(DJ マイク端子)  
このジャックにDJマイクを接続して下さい。
2. CROSSFADER(クロスフェーダー)  
PGM 1 と PGM 2 の入力ソースをセンターでミックスします。クロスフェーダーを動かした時、ノイズが目立つようになったり、20mmフェーダーやダイヤルユニットをご使用の際はクロスフェーダーユニットを交換して下さい。ユニットの取付ネジ(4本)と内部のコネクターで簡単に交換できます。  
NOTE: クロスフェーダーユニットを交換する際には、取付方向を良くご確認下さい。
3. PHONES(ヘッドフォン端子)  
このジャックにヘッドフォンを接続して下さい。8~600Ωまで使用可能で、適正は150Ωです。
4. TRANSFORMER SWITCH (トランスフォーマーSW)  
クロスフェーダーを左側、又は右側に振り切った時、反対側のスイッチを押した時だけそのプログラムが出力されます。このスイッチによりトランスフォーマースクラッチが容易に行えます。
5. MONITOR LEVEL(ヘッドフォン・ボリューム)  
ヘッドフォンのモニターレベルの調整用ノブです。
6. CF. モニター  
本機は、クロスフェードステレオモニターシステムを採用しています。外部に出力されるソースとは関係なくヘッドフォンにて、PGM 1 と PGM 2 の入力ソースをモニターすることが出来ます。
7. MASTER LEVEL(マスターレベル)  
リアパネルのLINE OUT端子から出力される信号のレベルを調整します。
8. BALANCE(バランス)  
LINE OUT出力のLチャンネル、Rチャンネルのバランスを設定します。
9. LEVEL(チャンネル・レベル・フェーダー)  
各チャンネルのインプットフェーダーです。通常7~8の位置でお使い下さい。
10. LED (レベルメーター)  
リアパネルのLINE/OUT端子から出力される信号のレベルを表示します。0dBのLEDが時々点灯するようにマスターフェーダーを調整して下さい。

### 11. INPUT(入力ソース選択スイッチ)

各PGMに、どの入力を立ち上げるかを選択するスイッチです。プログラム毎に、リアパネルに接続された3つのステレオ入力ソースの中から選択できます。

プログラムは次のようになっています。

PGM-1……PHONO 1, LINE 1, LINE 2

PGM-2……PHONO 2, LINE 3, LINE 4

PHONO入力には、RIAAイコライザーがはいっています。LINE入力には、CDプレイヤー、TAPE DECKの出力を接続して下さい。

NOTE: PHONO入力には、MMタイプのカートリッジのついたターンテーブルを接続して下さい。MCタイプのカートリッジをご使用になるときは、ヘッドアンプが必要となります。

### 12. TRIM(トリム・ボリューム)

各チャンネルの入力レベルを調整します。インプットフェーダーとマスターフェーダーを7~8の位置にセットしてLEDレベルメーターの0dBが時々点灯する位置にセットして下さい。

MAIN MIC(メインマイク入力調整ノブ)

リアパネルにあるMAIN MIC JACKに接続されたメイン

### 13. マイクの入力レベルを調整します。

DJ MIC(DJマイク用入力調整ノブ)

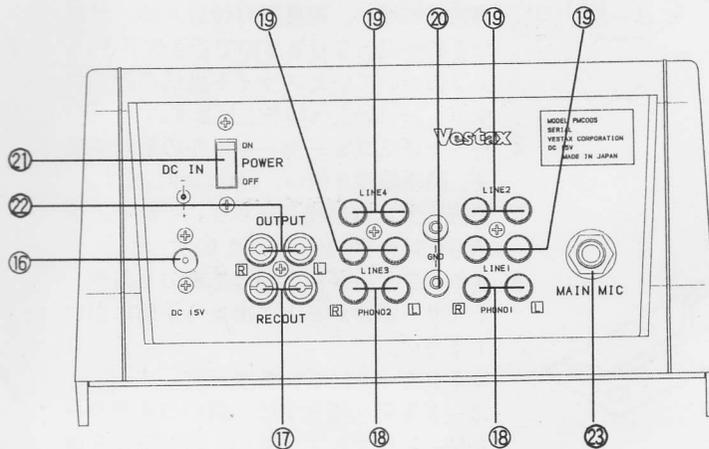
フロントパネルにあるDJ MIC IN JACKに接続されたDJ

### 14. マイクの入力レベルを調整します。

FILTER ボリューム

メインMIC, DJ MIC 各々の入力信号の低音をカットする

### 15. ボリュームです。プレス音によるスピーカーへの悪影響が生じた時等、気になる時にこのボリュームを右に回すことで低音がカットできます。



## リアパネル

### 16. DC IN

付属のACアダプターをつないで下さい。

### 17. REC OUT L/R (RCA PIN JACK)

マスター出力の不均衡出力です。モニター等へのサブ出力としてご使用下さい。

### 18. PHONO INPUT L/R [1, 2,] (RCA PIN JACK)

各PGMのターンテーブルの入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続して下さい。

### 19. LINE INPUT L/R [1~4] (RCA PIN JACK)

各ラインレベル機器の入力端子です。CDプレイヤー、テープデッキ、VTR音声出力等を接続して下さい。

### 20. GND (グランドターミナル)

各PGMのターンテーブルのアース端子を接続して下さい。

### 21. 電源SW (電源スイッチ)

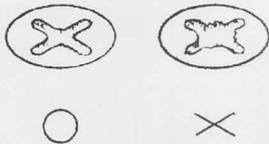
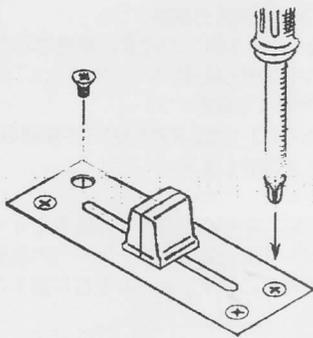
22. LINE OUT L/R (RCA PIN JACK)  
マスター出力の不均衡出力です。パワーアンプの入力に接続して下さい。

### MAIN MIC (1/4 inch PHONE JACK)

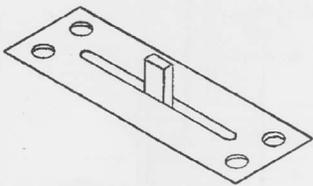
メインマイクの入力端子です。

## PMC-005 クロスフェーダー交換

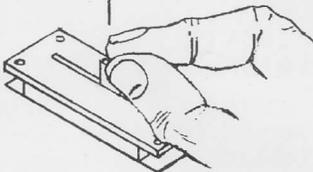
①



②



③



1. クロスフェーダーパネルの四隅のネジを、プラスドライバーではずします。

この時、ネジのプラス穴形状と同じタイプのプラスドライバーをお使い下さい。また、ドライバーは、垂直に立て、適度な力を加えて、接触部が滑らない様に静かに回し始めて下さい。接触部分を滑らせて、ネジのプラス穴形状を変形させてしまうと、取はずしができなくなる事がありますのでご注意下さい。

2. クロスフェーダーノブをはずします。

3. 垂直に上に持ち上げて下さい。前後、左右に揺らしながらはずすと、ノブ裏側の溝穴が広がり、再度取り付けた時、がたつきの原因となりますのでご注意下さい。ノブのついていたスライド抵抗の頭をつまみ、2~3mm上へ持ち上げます。

4. 持ち上げたフェーダーパネルの手前両端を、両手親指を使い、静かに押します。

5. 前方へ少し力を加えながら、手前を上へ持ち上げます。

6. クロスフェーダー下部の基板の手前が、ミキサー本体から上へ出たら手前に引いて下さい。

コネクタをはずします。

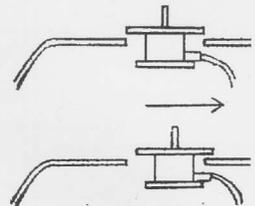
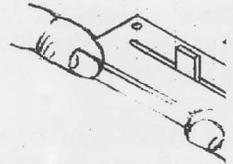
コードを引っ張らずに、白いコネクタを持ってはずして下さい。接触不良を確実に防ぐため、多少きつめのコネクタを使用しているため、はずしにくいかもしれませんが、ご了承下さい。

7. 新しいクロスフェーダーを用意し、コネクタを接続します。

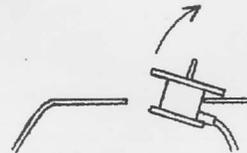
コネクタの凸凹形状を確認して、上下を間違わない様に、しっかりと接続して下さい。

取り付けは、はずす時と逆の作業を行なって下さい。クロスフェーダーの上下を間違わない様にして下さい。

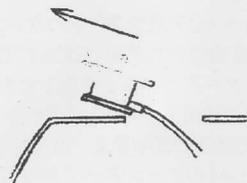
④



⑤

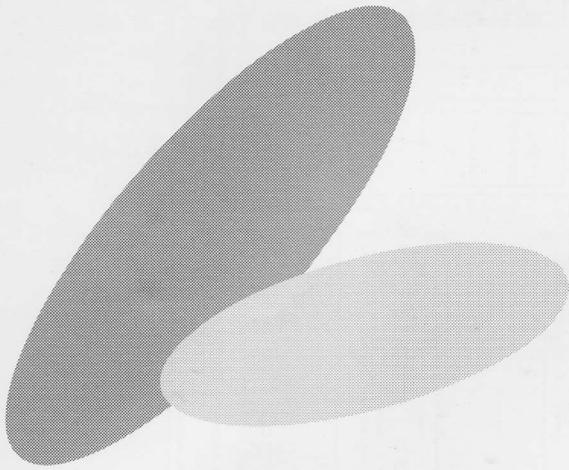


⑥



**VESTAX CORPORATION**

2-37-1, KAMIUMA, SETAGAYA-KU,  
TOKYO 154 JAPAN  
TEL: 03-3412-7011 FAX: 03-3412-7013



**VESTAX CORPORATION**